

概要

○津野山地域（梶原町、津野町旧東津野村）は、平成30年度に実施した農家への調査で、高齢化や後継者不足による地域農業の活力低下が示唆された。

○しかし、狭あいな農地が多いため単一品目の生産では十分な所得が確保できず、新規就農者が定着しにくい状況にあった。

○そこで、須崎農業振興センターは関係機関と連携し、園芸基幹品目を中心とした農家の所得向上に向け、栽培管理技術指導による収量向上や複合経営の推進、新たな担い手の確保、ユズ及び茶産地の維持対策に取り組んだ。

○その結果、**園芸基幹品目の収量向上及び担い手の確保、産地計画（ユズ・茶）の策定・実行**に繋がった。

具体的な成果

1. 基幹品目生産農家の経営安定

- 栽培管理技術の徹底及び新技術等の導入
- 複合経営モデルの作成及び活用
- JA青壮年部によるユズ収穫作業受託
- 新たな担い手の確保

目標反収達成農家率（R2）48.1%⇒（R5）55.1%
複合経営モデル3事例実践農家数（R2～5）：6戸
収穫作業受委託マッチング園数（R2～5）：累計5ヵ所
新規就農者数（R2～5）：12名

表 新規就農者

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	合計
ミョウガ	0	2	0	0	2
米ナス	0	0	0	0	0
甘トウ	3	3	1	0	7
その他園芸	0	0	2	1	3
合計	3	5	3	1	12

2. 補完品目の産地の維持

- 関係機関と協議を重ね、令和4年8月に津野山地域ユズ産地協議会を設立し、同年9月に「**津野山地域ユズ産地構造改革計画**」が策定された。

果樹経営支援対策事業活用による新植推進 **R4～5年度累計：15戸 191.7a**

- 茶生産者及び茶業関係事業者（茶製品販売事業者等）と協議を重ね、津野町の茶振興のための5カ年計画を定めた「**津野町茶業振興計画**」が策定された。

R5年度実施面積：1.6ha R6年度計画面積：1.5ha
18戸39ほ場の土壌分析と施肥設計の提案

- ①茶園若返り（中切り）の推進
- ②茶園の適正施肥推進

普及指導員の活動

令和2年
～5年度

- 園芸基幹品目栽培農家の目標収量の把握、巡回指導及び課題解決実証ほの設置を行い、農家目標と産地目標の達成を支援
- 園芸基幹品目と補完品目等（加工用ワサビ、ユズ収穫作業受託、里芋）を組み合わせた複合経営モデルの作成を行い、農家に推進
- 新規就農相談会の開催や就農支援体制強化（ハウス情報の整理等）を実施

令和3年
～5年度

- 高齢化などにより収穫できないユズ園地とJA青壮年部との**収穫作業受委託のマッチングを支援**

令和4年度

- 津野山地域ユズ産地協議会の設立支援を行い、関係機関と連携して「津野山地域ユズ産地構造改革計画」を策定
- 茶産地の維持を図るため、茶生産者への栽培継続意向のアンケート実施課題解決に向けた**協議の場でのコーディネート**を行い、「津野町茶業振興計画」の策定を支援

令和4年
～5年度

- 果樹経営支援対策事業の活用を支援

令和5年度

- 園芸基幹品目経営モデルの見直し・新規品目経営モデルの作成
- 「津野町茶業振興計画」の実行主体となる「**つの茶振興協議会**」設立を支援
- 茶園の適正施肥、若返りを推進



普及指導員だからできたこと

- ・JA、町との連絡会を定期的に開催し、課題把握と対策の協議を円滑に進めた。
- ・農業技術センター試験結果や篤農家の調査データ、他産地の取組みなどを情報収集し、関係機関や部会等と話し合っ活動できた。

多様な担い手による中山間農業の再編

活動期間：令和2～5年度

1. 取組の背景

高知県北西部の山間地域に位置する津野山地域（梶原町、津野町の旧東津野村）は夏秋期の園芸産地として発展してきた。しかし、平成30年度に実施した農家への調査で、高齢化や後継者不足による地域農業の活力低下が示唆された。一方で、狭あいな農地が多いため単一品目の生産では十分な所得が確保できず、新規就農者が定着しにくい状況にあった。また、加工用ユズや茶などの補完品目においては高齢化による栽培放棄園地が徐々に増えていた。

そこで、須崎農業振興センターは、園芸基幹品目（ミョウガ、米ナス、甘長トウガラシ（以下、甘トウ））を中心とした農家の所得向上による新規就農者の確保、ユズ及び茶産地の維持に取り組んだ。

2. 活動内容（詳細）

（1）基幹品目生産農家の経営安定

ア 園芸基幹品目の栽培管理技術の徹底及び新技術等の導入

園芸基幹品目の生産農家に対して、各農家の立てた目標収量達成に向け、実績の確認と次作の対策を決定する面談を実施した。また、現地検討会・目慣らし会での栽培指導、生育診断指標に基づく個別指導、課題解決実証ほの設置、GAP取組支援を実施した。



イ 複合経営の推進

園芸基幹品目とユズ収穫作業受託、加工用ワサビ、里芋を組み合わせた複合経営モデルを作成した。園芸農家から複合経営モデルの活用を推進する農家をリストアップし、各モデルの提案と実践者のフォローアップを行った。また、高齢化などにより収穫できないユズ生産者とJA青壮年部（園芸基幹品目生産農家）とを繋ぎ、収穫作業を受委託する仕組みを作った。

令和5年度には、近年の生産環境に合わせて園芸基幹品目の経営モデルの見直しを行った。

ウ 新たな担い手の確保

2町合同での就農相談会の開催支援と、就農に向けた個別対応を行った。また、ハウス情報などの整理を行った。

（2）ユズ産地の維持

園地の遊休化防止対策として、園地の位置図の整理を行った。

令和4年度に津野山地域ユズ産地協議会の設立を支援し、関係機関と連携して「津野山地域ユズ産地構造改革計画」の策定に取り組んだ。計画策定に伴い、果樹経営支援対策事業の活用を推進した。

（3）放棄茶園の再生と産地の維持

令和4年度に、茶生産者へのアンケート実施や課題解決に向けた協議の場でのコーディネートを行い、「津野町茶業振興計画」の策定を支援した。その計画に基づき、令和5年度は、高樹齢樹茶園の若返りに向けた中切りや土壌分析結果に基づいた適正施肥の指導などを行った。



3. 具体的な成果（詳細）

（1）基幹品目生産農家の経営安定

ア 園芸基幹品目の栽培管理技術の徹底及び新技術等の導入

令和5年度はミョウガ14戸、米ナス6戸、甘トウ7戸で目標反収を達成し、目標反収達成率は55.1%となった（表1）。

イ 複合経営の推進

「夏秋栽培＋ユズ収穫作業受託」、「夏秋栽培＋加工用ワサビ」、「夏秋栽培＋里芋」の複合経営モデルが作成でき、複合経営モデルの活用農家は6戸となった。

令和3年度から取り組んでいるユズ収穫作業受委託は、令和5年度に新たに2カ所でマッチングでき、令和2年度からの累計が5カ所となった。

また、基幹品目となる「ミョウガ」、「米ナス」、「甘トウ」の各経営モデルを更新し、「ピーマン」を新たに作成した。

ウ 新たな担い手の確保

令和2年度から令和5年度までの新規就農者数は12人となった（表2）。

（2）ユズ産地の維持

令和4年8月に津野山地域ユズ産地協議会が設立され、同年9月に「津野山地域ユズ産地構造改革計画」が策定された。令和4～5年度に果樹経営支援対策事業を活用して新植した生産者は15戸、191.7aとなり、産地拡大に繋がった。

（3）放棄茶園の再生と産地の維持

令和5年3月に「津野町茶業振興計画」が策定され、高知県土佐茶生産強化事業を活用した令和5年度の中切りが行われるようになり（令和5年実施面積1.6ha、令和6年計画面積1.5ha）、生産性向上に繋がった。また、18戸39ほ場の土壌分析を実施し、ほ場ごとの施肥設計を提案したことで、土壌環境改善につながった。

表1 目標反収達成農家の推移

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
ミョウガ	12/17戸	10/17戸	13/19戸	14/19戸
米ナス	5/12戸	3/12戸	3/10戸	6/9戸
甘トウ	9/25戸	7/27戸	10/24戸	7/21戸
総計	26/54戸	20/56戸	26/53戸	27/49戸
達成農家率	48.1%	35.7%	49.1%	55.1%

表2 新規就農者

単位：名

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	合計
ミョウガ	0	2	0	0	2
米ナス	0	0	0	0	0
甘トウ	3	3	1	0	7
その他園芸	0	0	2	1	3
合計	3	5	3	1	12



4. 農家等からの評価・コメント（津野町 S 氏（新規就農 3 年目））

- ・振興センターなど関係機関からのサポートがあり、就農にあたってのプレッシャーは少なかった。
- ・目標収量達成に向けた課題や技術的な疑問点について、普及指導員が定期的に指導に来てくれることで、気軽に相談、質問ができた。

5. 普及指導員のコメント（須崎農業振興センター・普及指導員・横田慎）

- ・高齢化による離農に伴い産地としての生産力は低下傾向にあるが、園芸基幹品目栽培農家の技術力向上に寄与でき、目標収量達成農家率は向上した。今後も継続して基幹品目生産者の所得確保に取り組む。
- ・ユズ、茶について、産地維持のための基本方針となる産地計画が策定され、関係機関と連携して取り組む体制ができた。今後は、多様な担い手に提案することで産地の維持に取り組んでいく。

6. 現状・今後の展開等

- ・データ駆動型営農支援等を用い、個別農家の面談結果を踏まえた個々の目標収量達成を支援することで、園芸基幹品目の生産安定に繋げ、農家所得の確保と新たな担い手の確保等に取り組む。
- ・ユズでは、産地計画の実行に当たり、作業委託者及び受託者の掘り起こしと対象園地の確認を継続し、よりよい作業受委託の仕組みへと改善する。
- ・茶は、津野町茶業振興計画の実行による茶産地の維持を目指す。